

事務事業名	市民病院事業会計								担当課	部課名	市民病院事務局病院総務課					
予算科目コード	会計	17	款	0	項	0	目	0	細目	00	説明	0	課等の長	田口 英太郎	電話	0466-25-3111

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 46 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	高度医療を担当する地域の基幹病院として、地域の医療機関と連携して地域医療の向上を図るとともに、医療の質を高め、患者が安心して受けられる医療を提供する。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市病院事業に係る公営企業の設置等に関する条例					
事業実施内容	外来診療は、地域の医療機関からの紹介による専門外来と24時間体制で診療にあたる救急外来を基本に行い、入院診療は、高度急性期・急性期患者を対象として新入院患者数の増加及び平均在院日数の適正化に努めた病院運営を行った。また昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症対策「神奈川モデル」の高度医療機関及び重点医療機関協力病院等として重症・中等症の患者の治療を中心に役割を担ってきた。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、昨年度に比べて患者数が回復傾向にあり、外来患者数は延べ312,629人、入院患者数は延べ152,186人となり、前年度と比べて外来は24,045人、入院は3,447人増加した。また、病床利用率は(感染症病床含む)77.8%で、前年度に対して1.8ポイント上回った。収支状況として、まず支出としては、患者数の増加や感染症患者に対する治療薬等による材料費が増加し、またポリ塩化ビフェニル廃棄物処理に伴う経費が増加したことにより、昨年度に比べて増加した。収入については、入院・外来収益ともに、昨年度に比べ医業収益が102,869千円増加し、国県からの新型コロナウイルス感染症患者等受入病床確保事業補助金等により、減収が補填されたことにより、経常収支比率は、106.3%となった。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容	
	8,612,267 千円	費目	支出済額 (千円)		
		病院事業費用	8,612,267 千円	材料費(診療材料等)、経費(委託料等)、研究研修費(旅費等)など	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	8,612,267 千円	費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金	1,421,589 千円		令和3年度 常時勤務職員※ 920.17人工 短時間勤務職員(再任用・任期) 4.50人工 合計 924.67人工 ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 313.58人
		使用料・手数料			
		国庫支出金	174,855 千円		
		県支出金	2,164,906 千円		
	その他 ()				
	一般財源	4,850,917 千円			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	20,232,946	20,665,131	20,881,197	21,698,139		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	17,672,446	17,973,740	18,010,845	18,644,961		
		事業費(支出済額)	9,977,342	10,017,532	8,074,848	8,612,267		
		償還金利息	102,456	98,505	96,731	93,565		
		人件費合計(①+②+③)	7,592,648	7,857,703	9,839,266	9,939,129		
		①常時勤務職員等の給与等	7,531,928	7,786,368	8,527,812	8,495,892		
		②会計年度任用職員の報酬等	27,658	26,843	1,275,559	1,385,800		
		③退職金相当額	33,062	44,492	35,895	57,437		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,560,500	2,691,391	2,870,352	3,053,178		
		①減価償却費	1,385,786	1,390,103	1,468,505	1,551,370		
		②退職給与引当金繰入額	215,320	280,719	268,533	289,335		
		③不納欠損額	12,063	8,275	561	3,750		
		④その他 (その他特別損失等)	947,331	1,012,294	1,132,753	1,208,723		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	47128.22	429,317	47718.86	433,060	47989.40	435,121	49.43	438,968
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
上記指標名の設定ができない理由		地域住民の健康の維持・増進と安全・安心な市民生活の確保への貢献は数値で表せないため						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 補助金がなければ経常収支比率は100%を下回っている。地域の医療提供体制を確保し、良質な医療を継続的に提供するために経営の効率化は不可欠であり、現在「藤沢市民病院健全経営推進計画」を策定し、収益確保及び費用削減の取り組みを進めている。	低
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	市民病院事務局	氏名	佐保田 俊英	確認日	2022/8/10
----	---------	----	--------	-----	-----------